



水回りの修理サービスのトラブルにご注意ください！

故障して流しっ放しになってしまったトイレの修理を業者に依頼したところ、「タンクと便器を交換しなければ直らない」と言われ、高額な工事契約を迫られるというトラブルが発生しています。そのほか、ふろや台所の蛇口の水漏れや詰まりの修理に対し、高額請求を受けるなどのトラブルも寄せられており、修理を依頼する際には十分な注意が必要です。

◆注意点

- ① 広告をうのみにせず、申込時・作業前に金額を確認する。
- ② 依頼した修理以外の工事を勧められた場合、まず応急処置を求めた方が安全です。その場で契約せず、工事の必要性を十分検討するなどの注意が必要です。

※茨城県南水道企業団(☎0297-66-5131)では、漏水修理の当番業者を設けていますので、お問い合わせください。



問い合わせ 牛久市消費生活センター ☎830-8802 FAX830-8803
相談日：月・水・金曜日(午前9時～午後4時)

みんなの 農業

～うしくスタイル～

飼料米をご存じですか？

飼料米とは牛や豚などの家畜に食べさせるお米のことです。

今年の穀物価格の高騰はすさまじいものがありました。廃業に追い込まれた畜産農家の報道も記憶に新しいところです。こうしたことから、海外の穀物価格による影響を少なくするとともに、国内の水田を有効に活用しようという目的で、飼料米の生産が全国に広がりつつあります。

牛久市でも、今年度より飼料米の生産を開始しました。「うしく河童米」の生産者でもある花島常雄さん、そして宮本喜好さん、山岡利喜雄さんの3人が飼料米作りに取り組みます。全員が米作りにかけてはベテランですが、初めての品種に挑戦するので気持ちは一年生。その「ホシアオバ」という品種は、大粒で、茎が太くて倒れにくく、主食米に比べてたくさん収穫できるのが特長です。生産者たちは「豚をおいしくする米を作るために、勉強するよ」と意気込みを語ってくれました。3人の牛久産飼料米は、市内で飼育されている豚のえさになります。牛久のお米を食べて育った豚の肉を味わってみたいものですね。



県の職員に指導を受ける3人の生産者
(手前3人)

問い合わせ 市農業政策課 ☎内線1521～1522